

ビワ生育情報

千葉県
平成30年5月号

平成30年4月の気象

平成30年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、すべての半旬で平年を上回った。月平均気温は16.2℃で、平年より2.3℃、前年より2.4℃高かった。また、館山測候所の月平均気温は17.0℃を記録し、3月同様、過去50年で最も高かった。

降水量は、すべての半旬で平年を下回り、第6半旬では降雨がなかった。月合計は69mmで、平年の40%、前年の33%であった。また、館山測候所の月降水量は60mmを記録し、過去50年で最も少なかった。

日照時間は、第3及び第5半旬を除く4半旬で平年を上回り、月合計は205時間で、平年の119%、前年の111%であった。

表1 平成30年4月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	16.4	11.7	9.2	2	28	11	36	27	37
2	13.9	13.1	14.7	4	26	49	44	28	10
3	16.4	13.5	13.7	16	27	68	25	28	39
4	14.9	14.2	16.2	19	37	76	33	28	34
5	17.8	15.0	13.8	28	36	0	28	30	29
6	18.1	15.7	15.0	0	20	10	39	31	36
平均/合計	16.2	13.9	13.8	69	174	212	205	172	184

6月の作業

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、晩生の「田中」でも6月中旬には終了する。夏肥(礼肥)は、収穫後の樹勢をすみやかに回復させるために、適期に施用する。台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

収穫

5月下旬から6月上旬にかけて収穫最盛期に当たる。市場において他産地との競合が激しくなっているので、品質の良い完熟果を出荷して、市場、消費者の信頼を得るように心がけたい。

夏肥の施用

夏肥は樹勢の回復及び夏枝の伸長と花芽分化を促すために必要である。収穫直後に速効性肥料を用いる。10a当たり施肥量(成分量)は、耕土の浅い園で窒素5kg、りん酸4kg、加里4kg、耕土の深い園でそれぞれ5kg、3kg、3kgを施用する。

果実の発育

5月1日現在の果径は表2に示した。横径は「楠」が3.52cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ3.34cm、3.13cmであった。本年の横径は、3品種共に平年より15～21%、前年より23～41%大きかった。

縦径は「楠」が3.95cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ3.38cm、3.19cmであった。本年の縦径は、3品種共に平年より9～27%、前年より9～38%大きかった。

果形指数は「楠」が0.89、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.99、0.98で、「楠」は平年より小さく、「大房」はほぼ平年並みで、「田中」は平年より大きかった。果形を平年と比較すると、「楠」は縦長、「大房」はほぼ平年並みで、「田中」は横長の傾向であった。

果実の発育は、2月までは遅れていたが、それ以降の気温が高く推移したため、5月1日時点では平年より早く進んでいる。気象庁によると、向こう1か月の気温は平年より高く推移することが予想されており、収穫期は平年より早いと予想される（各品種の平年値は前年の7月号を参照）。十分に肥大する前に着色し始める場合もあるので、収穫適期を逃さないように注意が必要である。

本年は、寒害を被った幼果が多かったため、着果量は平年よりやや少ない。病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生は平年よりやや少なく、果実の被害程度も平年よりやや少ない。果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で多発生年と同様の傾向を示すため、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組む。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	3.52	2.91	2.50	3.95	3.10	2.87	0.89	0.94	0.87
	青 木	3.27	2.99	2.56	3.39	3.07	2.77	0.97	0.97	0.92
大 房	南 無 谷	3.28	2.99	2.73	3.28	3.06	3.07	1.00	0.98	0.89
	暖地園研	3.47	2.80	2.58	3.47	2.91	2.94	1.00	0.96	0.88
	平 均	3.34	2.91	2.62	3.38	3.00	2.92	0.99	0.97	0.90
田 中	青 木	2.96	2.72	2.39	3.06	3.01	2.79	0.97	0.91	0.86
	南 無 谷	3.16	2.65	2.70	3.13	2.94	3.00	1.01	0.90	0.90
	暖地園研	3.27	2.66	2.56	3.40	2.90	3.00	0.96	0.92	0.85
	平 均	3.13	2.67	2.55	3.19	2.94	2.93	0.98	0.91	0.87

果形指数：横径／縦径

平年：昭和63年～平成29年の30年間の平均。

南無谷は平成4～8年、平成10～29年の26年間の平均。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>